

## 大会日程

11月2日(土)

(大会1日目) 午前部

8:40 ~ 受付

9:05 ~ 9:15 開会式 (C会場 臨床講義室3)

9:00

10:00

11:00

A会場 (臨床講義室1)		B会場(臨床 講義室2)	C会場 (臨床講義室3)	
9:35 ~ 10:05	A-1-1 座長：坪井雅史(神奈川大学) 片山紀子(東京大学人文社会系研究科) 「患者による医療者への暴力の背景要因に関する考察(2)」	会員控室 滋賀医大展示	9:20 ~ 10:50	ワークショップ1 「死の害の哲学と医療倫理・生命倫理」 責任者・司会：佐々木渉(山口大学/滋賀医科大学) 演者：佐々木渉(山口大学/滋賀医科大学) 石原諒太(京都大学) 稻荷森輝一(北海道大学)
10:10 ~ 10:40	A-1-2 座長：池邊寧(奈良県立医科大学) 清水啓介, 城祐一郎(東京都健康長寿医療センター麻酔科/昭和大学医学部法医学講座) 「ドイツにおける自殺介助法をめぐる議論状況について」			
10:45 ~ 11:15	A-1-3 座長：堀田義太郎(東京理科大学) 徳永純(狭山神経内科病院) 「「交換様式」からの優生思想批判の試み」		10:55 ~ 12:25	ワークショップ2 「医療者養成課程において人文学がなぜ重要であるのか、その理由を考える」 責任者・司会：船木祝(札幌医科大学) 司会：石丸知宏(産業医科大学) 演者：丸橋裕(立命館大学) 小宮山陽子(東京女子医科大学)
11:20 ~ 11:50	A-1-4 座長：蔵田伸雄(北海道大学) 尾崎恭一(奨哲会) 「わが国の精神的苦痛ゆえの医師介助自殺等の倫理問題」			

The 43<sup>rd</sup> Congresses of The Japanese Association for  
Philosophical and Ethical Researches in Medicine  
Shiga University of Medical Science, 2024

11:55 ～ 12:25	座長：丸山マサ美（九州大学） A-1-5 稲荷森輝一（北海道大学） 「「自然な看取り」とフレーミング効果—DNAR への同意に関する社会心理学的研究と哲学的含意—」		
---------------------	---	--	--

12:00

12:30～14:00 昼食・休憩

13:00

12:30～14:00 評議員会(C会場 臨床講義室3)

14:00

\*事前に申し込まれた方にはお弁当をご用意いたします。受付にてお受け取りください。

\*キャンパス内にあるコンビニエンスストア（ローソンおよびセブンイレブン）をご利用いただけます。

11月2日（土） （大会1日目） 午後の部

A会場 (臨床講義室1)		B会場(臨床 講義室2)	C会場 (臨床講義室3)	
14:05 ～ 15:35	ワークショップ3 「エンド・オブ・ライフのスピリチュアル・ペインと実存的な痛み」 責任者・司会：蔵田伸雄(北海道大学) 演者：シルヴィア・マリア・オレーヤージュ(北海道医療大学) 沖永隆子(帝京科学大学) 蔵田伸雄(北海道大学)	会員控室 滋賀医大展示	14:05 ～ 14:35	座長：小館貴幸（立正大学） C-1-1 村部義哉（京都府立医科大学） 「在宅リハビリテーションにおけるパターナリズムの正当化条件」
			14:40 ～ 16:10	ワークショップ4 「患者・市民参画（PPI）とは何か——その現状と課題——」 責任者・司会：杉原正子（まさこ心のクリニック自由が丘） 司会：秋葉峻介（山梨大学医学部総合医科学センター） 演者：美馬達哉（立命館大学大学院先端総合学術研究科） 渡部沙織（東京大学医科学研究所 公共政策研究分野）
15:40 ～ 16:10	A-1-6 座長：宍戸圭介（岡山大学） 吉澤日英美（北海道大学） 「文脈相対的な危害概念の無危害原則への適用」			

15:00

16:00

16:15~17:25 基調講演(C会場 臨床講義室3)

「日本社会の変容と医療に関する哲学・倫理の展開—運命・自己決定・人生会議—」

演者 浅見洋 西田幾多郎記念哲学館長/石川県立看護大学名誉教授

司会：中嶋優太 石川県立看護大学講師

加藤穰 滋賀医科大学副理事

17:00

17:30 ~ 18:30 交流会 (A会場 臨床講義室1)

参加自由

(軽食があります)

18:00

11月3日(日) (大会2日目) 午前部

8:40 ~ 受付

	A会場 (臨床講義室1)	B会場(臨床 講義室2)	C会場 (臨床講義室3)
9:00	<p>9:00 ~ 9:30</p> <p><b>A-2-1</b> 座長：藤野昭宏(産業医科大学) 広瀬一隆(京都府立医科大学) 「ワクチン接種における道徳的ジレンマの検討 田辺元の「種の論理」の観点から」</p>	<p>会員控室 滋賀医大展示</p>	<p>9:10 ~ 10:40</p> <p><b>ワークショップ5</b> 「医療に関わる哲学対話の課題と可能性 役割や立場の「ゆれ・ずれ・ほぐれ」を活かすために」 責任者：堀江剛(大阪大学) 司会：堀江剛(大阪大学) 演者：藤本啓子(ウェル・リビングを考える会) 松川えり(哲学プラクティショナー)</p>
10:00	<p>9:35 ~ 10:05</p> <p><b>A-2-2</b> 座長：有江文栄(国立精神・神経医療研究センター) 秋葉峻介(山梨大学) 「誰が/誰と「物語」を紡ぐのか——「物語的自己同一性」の諸議論と「人生の物語り」」</p>		
	<p>10:10 ~ 10:40</p> <p><b>A-2-3</b> 座長：脇之園真理(藤田医科大学) 森禎徳(群馬大学) 「判断能力の非対称性を検討する」</p>		
	<p>10:45 ~ 11:15</p> <p><b>A-2-4</b> 座長：足立智孝(亀田医療大学) 森芳周(阪南大学) 「亡くなった胎児の倫理的に適切な処分とは何か——アメリカ諸州における「胎児埋葬法」をめぐる議論——」</p>		<p>10:45 ~ 12:15</p> <p><b>ワークショップ6</b> 「日本の文化伝統を「医学哲学」に導入する試み——21世紀の医療倫理の新たな枠組みの構築のために——」 責任者・司会：森下直貴(浜松医科大学名誉教授) 演者：山本伸裕(東京医療保健大学) 服部圭祐(秋田大学) 中嶋優太(石川県立看護大学)</p>
11:00	<p>11:20 ~ 11:50</p> <p><b>A-2-5</b> 座長：浅見昇吾(上智大学) 田野尻哲郎(京都文教大学) 「自発動の医療倫理：翻訳学的医療とその倫理の生成について」</p>		

12:00

	A-2-6	座長：大北全俊（滋賀医科大学） 梅村絢美（名古屋大学医学系研究科） 「地域医療フィールドワーク実習における偶発性、暴力、そして希望：侵襲性ゼロの学習は可能か？」		
--	-------	--	--	--

13:00

12:30 ~ 14:00 総会（C会場 臨床講義室3）

\*事前に申し込まれた方にはお弁当をご用意いたします。受付にてお受け取りください。  
 \*キャンパス内にあるコンビニエンスストア（ローソンおよびセブンイレブン）をご利用いただけます。

14:00

11月3日（日） （大会2日目） 午後の部

A会場 (臨床講義室1)		B会場(臨床 講義室2)	C会場 (臨床講義室3)	
14:05 ~ 14:35	A-2-7	座長：霜田求（京都女子大学） 村岡潔（岡山商科大学／京都府立医科大学） 「AIの人格可能性と責任論をめぐって」	14:05 ~ 14:35	C-2-1 座長：板井孝壱郎（宮崎大学） 杉岡良彦（京都府立医科大学） 「共感や共苦の問題を通じて医療の原点を考える」

15:00

14:40 ~ 16:10 シンポジウム（C会場 臨床講義室3）

「変容する日本社会と医学哲学—多角的な検討」

演者 池田光穂 大阪大学名誉教授  
 伊藤美樹子 滋賀医科大学教授  
 辻喜久 滋賀医科大学特任教授・札幌医科大学教授  
 宍戸圭介 岡山大学ヘルスシステム統合科学研究科教授  
 司会 大北全俊 滋賀医科大学教授  
 糸島陽子 滋賀県立大学教授

16:00

16:15 ~ 17:35 医哲カフェ (C会場 臨床講義室3)

「ホスピタルアート」

責任者 蔵田伸雄(北海道大学)

司会 加藤太喜子(岐阜医療科学大学)

演者 森口ゆたか(近畿大学)

17:40~17:45 閉会式(C会場 臨床講義室3)

大会本部 第1講義室

会員控室 臨床講義室2

\*事前に申し込まれた方にはお弁当をご用意いたします。受付にてお受け取りください。

\*キャンパス内にあるコンビニエンスストア(ローソンおよびセブンイレブン)をご利用いただけます。